

ふれあいネットワーク

2018.2.1

No.164号

# ふれあいネットワーク くだまつ 社会協議会だより

社会福祉法人  
下松市社会福祉協議会  
〒744-0022 下松市大字末武下617番地2  
下松福祉センター内  
TEL 41-2242 FAX 41-2330  
<http://www.kudamatu-syakyo.or.jp/>



## 一鉢から広がる幸せの輪

### 目次 (主な内容)

新年のあいさつ	2P
共同募金中間報告	3P
下松市社会福祉振興大会	4, 5P
山口県総合社会福祉大会	6P
善意の花束	7P
サロン活動紹介	8P

11月20日、花岡地区で、地区社協ボランティア部のメンバー（35名）が手分けをして花鉢の配布を行いました。

毎年この時期に、地域の約300世帯の高齢者宅を訪問し、日常生活や近況についての会話をしながらシクラメンの花とやさしさを手渡しています。

花岡地区社協ではこのような見守り活動をとおし、住みよい地域づくりに取り組んでいます。

～ 参加する あなたも素敵な資源です～

## 「住み慣れた地域でだれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして



下松市社会福祉協議会 会長 市川 正紀

あけましておめでとうございま  
す。皆様には希望に満ちた新春を  
お迎えのこととお慶び申し上げま  
す。

平素より、下松市社会福祉協議  
会の諸事業・諸活動に対しまして  
温かい御支援・御協力を賜り、厚  
く御礼申し上げます。



昨年の十一月末  
に開催しました

「平成二十九年度下  
松市社会福祉振興大会」では、会  
場に入りきらないほどの多くの皆  
さんに御参加いただき、誠にあり  
がとうございました。命の尊さに  
ついて考える貴重な大会になつた  
ことと存じます。この大会で社会  
福祉労働者として表彰を受けられ  
た皆様、誠におめでとうございま  
す。皆様の長きにわたる社会福祉  
事業への御貢献・御功績に対し、  
御指導・御支援を賜りますようお  
願い申し上げます。

さて、近年、少子高齢化や人口  
減少、核家族化の進行、地域のつ  
ながりの希薄化等、地域社会を取  
り巻く環境が大きく変化していま  
す。

このような中、わが国では、「ニッポン一億総活躍プラン」において、子ども、高齢者、障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が提唱され、「他人事」になりがちな地域づくりを、地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みの構築に向けた施策が推進されているところです。

私は社会福祉協議会は、市当局、市議会の皆様方の御支援・御協力のもとに、公的施策のみでは成し得ない住民主体のきめ細かな地域福祉活動の展開を通し、福祉のまちづくりを進めることが使命であると認識しています。



## 親切会中国支部 の支援活動

12月21日、株式会社日立製作所と関連会社の従業員で構成する奉仕団体、「親切会中国支部」から、特定非営利活動法人子ども劇場くだまつに活動の一助として「自動掃除機」が贈られました。



## 「小さな親切」運動下松支部

では11月15日、

児童生徒の作文コンクールへの参加啓発と温かい親切行動に触れ、心の成長を促すことを目的に、作品集を下松市教育委員会に贈呈し、市内の全小中学校へ配布しました。

### 贈呈書籍

- ・しんせつ日和「作文コンクールの優秀作品集」
- ・涙がとまらないすてきな物語「エッセイコンテストの入賞作品の選りすぐり集」



～「はたちの献血」キャンペーン 1月1日から2月28日まで～

# 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

らの净財を、市内の福祉施設や障がい児等に歳末見舞金として贈りました。



## 皆様から寄せられた募金総額 **11,568,889円**

(平成30年1月4日 現在)

戸別募金	7,824,350円
法人募金	1,288,515円
職域募金	222,130円
学校募金	208,028円
街頭募金	113,923円
その他の募金	1,911,943円

皆さまからお寄せいただいた募金は、山口県共同募金会を通じ、市内の地域福祉活動の推進や福祉団体などの事業費として配分され有効に活用されます。皆さまから

のあたたかいお気持ちと多大なお力添えに感謝申し上げます。



## 歳末たすけあい募金(下松市共同募金委員会)

地域歳末見舞金	43件	<b>258,000円</b>
市内福祉施設見舞金	6施設	<b>120,000円</b>



## 善意銀行(下松市社会福祉協議会)

重度心身障がい児(者)見舞金	189件	<b>2,970,000円</b>
市内福祉施設見舞金	6施設	<b>180,000円</b>
交通遺児等見舞金	3件	<b>90,000円</b>



### 参加企業紹介

池田屋：季節に応じた特別メニュー「夜の池田屋旬彩御膳」・法要パックをご注文いただぐと、一食につき十円を赤い羽根共同募金に寄付しています。また店内に募金箱も設置し、ご協力いただけております。

募金百貨店  
プロジェクト  
とは”寄付つき商品・企画“  
を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募

山口県共同募金会では、「寄付つき商品・企画」で地域に貢献していただく企業等を募集しています。自社の強みを活かしながら、じぶんの町を良くするための社会貢献活動に参加しませんか？

お問い合わせ

社会福祉法人 山口県共同募金会  
FAX ○八三一九三二一八〇九  
電話 ○八三一九三二一八〇三  
山口市大手町九一六  
山口県社会福祉会館二階

寄付つき商品で  
地域貢献

～社協事業へのご支援ご協力をお願いします～



式典では、功労ごとに表彰が行われ、長年にわたり社会福祉の向上に尽力された功労者として下松市に資することを目的に開催したものです。会場一杯の参加者であふれました。



十一月三十日、スターピアくだまつ展示ホールで、平成二十九年度下松市社会福祉振興大会が盛大に開催されました。

、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、を主題としたこの大会は、社会福祉関

係者が一堂に会し、地域福祉のより一層の推進を期すとともに、社会福祉の分野で功績のあつた方々を表彰し敬意と感謝の意を表することにより、社会福祉の発展

# 下松市社会福祉振興大会



市長表彰三名、下松市社会福祉協議会長表彰四十六名・一団体の皆様が受賞されました。

式典終了後には、長久寺住職の有国智光氏より、「いのちのねがい」と題しての講演がありました。

講演では、「いのちがわたしを生きている」という言葉の意味を噛み砕いて、人は一人で生きているのではなく、大きなよろこびの中、ご縁があつて生かされているのだとお話しいただきました。そして、息子さんを若くして亡くしたこと踏まえ、本来のいのちの教えの大切さについて参加者一同改めて学ぶことが出来る貴重な機会となりました。

**せっかくの、資格。**



介護福祉士の資格をお持ちの方へ  
登録はこれから

2017年4月より 介護福祉士資格保有者を生涯支える

**離職時の届出制度スタート**

登録すると、就職支援のための  
就職相談・面接サポートなどを

介護福祉士資格をお持ちの方は、離職時に各都道府県福祉人材センターに届出することが努力義務となっています。就業中でも介護福祉士資格をお持ちの方は届出ができます。下記の研修を修了された方も是非、御登録お願いいたします。

介護福祉士

介護職員初任者研修

介護職員実務者研修

旧ホームヘルパー養成研修1級・2級課程

旧介護職員基礎研修

全国社会福祉協議会 中央福祉人材センター・山口県社会福祉協議会 山口県福祉人材センター

～“心のかよう福祉のまちづくり”をめざして～

# 受賞おめでとうございます

(順不同敬称略)

ボランティア功労

十三名

鳴川辰夫  
(西柳)  
腹話術小鳩会

下松市長表彰  
社会福祉関係功労  
弘中憲明  
(西豊井)  
庄田幸子  
(河内)  
長野光雄  
(河内)  
三名

下松市社会福祉協議会長表彰

市社協・地区社協関係功労  
八木一正  
(東豊井)  
宮川照之  
(南花岡)  
手嶋康之  
(下谷)  
武居幸代  
(山田)  
中村征六  
(河内)  
小川庄子  
(東陽)  
木健一  
(東豊井)  
島悦子  
(生野屋)  
村奈保子  
(北斗町)  
田則子  
(未武下)  
田久子  
(南花岡)  
田郁子  
(未武下)  
田原子  
(東豊井)  
川井子  
(旗岡)  
井村千代子  
(旗岡)  
田崎和子  
(東豊井)  
田嶋千代子  
(旗岡)

天武倉  
谷居本  
京雅敏  
子彦學  
(潮音町)  
(西柳)  
(生野屋)  
(河内)

岡本幸子  
(昭和町)  
高杉満子  
(桜町)  
山根朋子  
(周南市櫛ヶ浜)  
中村ヒサ子  
(まつぼっくりの会)  
(東豊井)  
菊川淳子  
(瀬戸)  
内富洋子  
(瀬戸)  
林啓子  
(楠木町)  
江口陽子  
(東陽)  
新開暁子  
(美里町)  
合田淑子  
(美里町)  
橋本純子  
(東豊井)  
穂山邦夫  
(東陽)



合田合上竹  
田中田野中  
衛和重浅喜久美  
司代信幸  
(清瀬町)  
(桜町)  
(潮音町)  
(東豊井)  
(旗岡)  
九名  
[民生委員児童委員功労]  
下松市更生保護女性会  
原田和田樺島木  
中田村木  
田奈保子子  
田久子子  
田郁子子  
田久子子  
(未武下)  
(未武下)  
(南花岡)  
(未武下)  
(東豊井)  
(旗岡)  
一正  
(東豊井)  
(南花岡)  
(下谷)  
(山田)  
(河内)  
(東陽)  
健一  
(東豊井)  
和敏篤博  
千代子  
孝江江子子  
二孝江江子子  
(笠戸島)  
七名  
[民間施設、福祉関係団体功労]  
六名・一団体  
(東豊井)  
(生野屋)  
(北斗町)  
(未武下)  
(未武下)  
(南花岡)  
(未武下)  
(東豊井)  
(旗岡)

西村敏勝  
自治会長功労  
栗篠鞆藤松山怒  
田原川井村崎和  
健和敏篤博  
二孝江江子子  
(笠戸島)  
一名  
(清瀬町)  
(東陽)  
(清瀬町)  
(清瀬町)  
(山田)  
(笠戸島)  
(美里町)  
七名  
[福祉員功労]  
福澤員功労  
田崎和千代子  
和敏篤博  
千代子  
孝江江子子  
(笠戸島)  
七名  
[感謝状]  
藤熊内林  
井谷山  
岩幸作幸  
男一郎子  
(来巻)  
(東豊井)  
(楠木町)  
四名  
[ボランティア功労]  
岡本幸子  
(昭和町)  
高杉満子  
(桜町)  
山根朋子  
(周南市櫛ヶ浜)  
中村ヒサ子  
(まつぼっくりの会)  
(東豊井)  
菊川淳子  
(瀬戸)  
内富洋子  
(瀬戸)  
林啓子  
(楠木町)  
江口陽子  
(東陽)  
新開暁子  
(美里町)  
合田淑子  
(美里町)  
橋本純子  
(東豊井)  
穂山邦夫  
(東陽)



## 献血は命を繋ぐボランティア ~「はたちの献血」キャンペーン~

期間中（平成30年1月1日～平成30年2月28日）に、成分献血・400mL献血への理解と協力を求め、冬季における献血者の確保と献血の一層の推進を図ることを目的に、イベントを実施します。

【とき】平成30年2月4日(日) 10:00～12:00 / 13:15～16:00  
【ところ】ザ・モール周南

☆当日、献血された方には「献血くじ」を実施。抽選によりフラワーポットのプレゼントやお菓子のつかみ取りを行います。

～助け合う 明るい町は 福祉から～

# 山口県総合社会福祉大会

10月26日、周南市文化会館で、県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第67回山口県総合社会福祉大会」が開催され、山口県知事表彰をはじめとし、各団体長表彰が行われ、本市から次の皆さまが受賞されました。  
(順不同敬称略)

## 山口県知事表彰

### 【社会福祉事業功労者】

#### 民生委員・児童委員

石津 理子 武居 裕子

#### 民間社会福祉事業施設等の長及び従事者

河原 悅子 田村 則子

#### 共同募金運動奉仕者及び団体

山本 誠一

## 山口県社会福祉協議会会长表彰

### 【社会福祉事業功労者】

庄田 幸子

## 山口県共同募金会長表彰

磯永千代子 藤井 フミ子

古田 尊子

## 山口県民生委員児童委員協議会会长表彰

庄田 幸子 長野 光雄 弘中佳代子

弘中 憲明 武居 純子 諏訪 啓子

亀田 浩子 津森 健一 浅原 郁子

赤塚 久子 波多野 智 松村 勉

西田 節夫 川戸 三孝 浅田美美枝

小手川美千子 中原久美子 藤田 典敬

木戸 明子 弘中 洋子 河村 好未

数井 忠義 中川満由美 藤井 照慈

## 山口県老人クラブ連合会長表彰

相本 博靖 磯村 寿夫 藤井 悟

三吉 武 六反 弘道

## 山口県老人福祉施設協議会会长表彰

村中 伸市 野田 理恵 岡 準也

福元そのみ 辻 真澄

## 山口県知的障害者福祉協会会长表彰

亀井 文子 森下 誠子

## 山口県肢体不自由児(者)父母の会連合会長表彰

大村 浩二

## ☆全国民生委員児童委員連合会会长表彰

(平成29年7月9、10日の全国大会で表彰)

## 永年勤続民生委員・児童委員表彰

武居 純子 浅原 郁子 庄田 幸子

赤塚 久子 亀田 浩子 諏訪 啓子

津森 健一 弘中佳代子 弘中 憲明

長野 光雄

## ☆全国社会福祉協議会会长表彰

(平成29年11月22日の全国大会で表彰)

## 民生委員・児童委員功労表彰

野田 黎子

## 地域で見守り

11月24日、下松福祉センター及び西地区地域で、認知症見守り声かけ訓練が開催されました。参加者約60人は、認知症サポーター養成講座を受講後、6グループに別れて地域に出て、認知症の方に声かけの体験を行いました。また、警察への通報訓練など実際の対応の仕方について確認しました。参加者は今回の訓練を通じて認知症への理解を深め配慮した声かけや見守りを学びました。



## 活動レポート

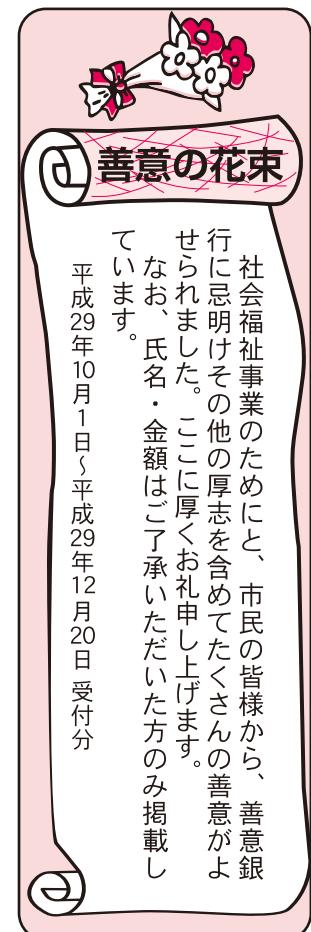
## やさしい気持ち

10月3日、中村小学校で3年生を対象に、高齢者や車いす利用者への声かけの大切さやお手伝いの方法を学ぶ、福祉体験学習を行いました。

児童の皆さんからは、「困っているお年寄りを見つけたら、やさしく目を見て声をかけたい」「今日の体験をいかしたい」といった声が聞かれました。社会福祉協議会は学校と協働して福祉教育を推進しています。



西豊井 柳 秀雄様	五〇、〇〇〇円	くだまつスポーツセンター様
(御母堂) ツル子様		
藤光町 河村 奎介様	二〇〇、〇〇〇円	累計 (三四回) 一、二〇一、四〇〇円
(御子息) 康之様		とよいまつり実行委員会様
生野屋 深田 敦子様	五〇、〇〇〇円	
(御主人) 良人様		
末武上 重本 智宣様	三〇、〇〇〇円	南花岡 武田 國彦様
(御子息) 宣雄様		四七円
末武中 谷川 泰枝様	二〇、〇〇〇円	匿名様
(御主人) 芳定様		五、二三五円
望 町 (株)カワナミ 鬼武 賢正様		五〇〇〇円
(御尊父) 正昭様	八、〇〇〇円	下松地区労働者福祉協議会様
中央町 富本 清子様	五〇、〇〇〇円	金一封 下松グラウンドゴルフ協会様
(御主人) 洋介様		
河 内 磯崎 瞳子様	五〇、〇〇〇円	来巻ふれあいサロン様
(御主人) 義登様		一〇、〇〇〇円
末武下 橋本 雅子様	一〇〇、〇〇〇円	瀬戸内ひらめ友の会様
(御主人) 薫様		二一、二六七円
切 山 河村 孝子様	一〇〇、〇〇〇円	累計 (六三、六四回)
(御母堂) 淑子様		



## 福祉施設見学会参加者募集

【日 時】3月6日(火) 9時30分～15時30分

## 【内 容】

## ○ 福祉講座

- ・そうだったのか!! 「介護保険」

## ○ 施設見学

- ・特別養護老人ホーム「ほしのさと」
- ・小規模多機能型居宅介護「あらなほーむ」
- ・認知症対応型共同生活介護「グループホーム笠戸」

【対 象】 福祉に関心のある市民

【定 員】 20人(応募者多数の場合は抽選)

【参加料】 無料(昼食は各自ご持参ください)

【締切日】 2月13日(火)

【申込方法】 はがき又は電話、FAX  
(住所、氏名、年齢、電話番号)

&lt;申し込み・問い合わせ先&gt;

〒744-0022 下松市大字末武下617-2  
下松市社会福祉協議会

TEL 41-2242 FAX 41-2330

～社協だよりに関するご意見・ご要望・情報をお待ちしております。

中央公民館ふれあいまつり実行委員会様  
一一〇、〇〇〇円累計  
三一六、四〇〇円  
サイクルショップくりやま様  
三〇、〇〇〇円累計  
一〇、〇〇〇円  
中村センターまつり実行委員会様  
六〇、〇〇〇円累計  
一〇、〇〇〇円  
本浦地区社会福祉協議会様  
二〇、〇〇〇円累計  
三九〇、〇〇〇円

## 物品寄付

匿名様	米三〇〇キロ
東陽町 岡 勝貞様	米六〇キロ
介護用品(紙おむつ) リングブル	二件
使用済切手	二二件

## 交通遺児基金

## いきいきサロン輝き

【場 所】西村・西村団地合同集会所  
 【開 催 日】毎月第2月曜日10時～11時30分  
 【対 象 者】高齢者  
 【参加人数】20人程度  
 【内 容】歌、体操、ゲーム



### 【メッセージ】

手作りの道具や工作したものを使ったゲームでわいわい楽しく過ごし、笑顔が輝いています。

「交流がなかった人ともサロンを通じて仲良くなれた」といった声が聞かれ、日常の助け合いにもつながっているサロンです。

## サロン活動紹介コーナー

## サロンとよい

【場 所】豊井公民館  
 【開 催 日】毎月第3水曜日 10時～12時  
 【対 象 者】高齢者  
 【参加人数】25人程度  
 【内 容】体操、ゲーム、手芸等



### 【メッセージ】

今年で15年目を迎え、みんなで楽しく過ごせるように、じゃんけんペタンコや人間輪投げ、ゴルフといった趣向を凝らしたゲームなどを行い、交流を深めています。また、季節に合わせた行事も開催しており、参加者の皆さんにはサロンの日を楽しみにしています。

## 【つくしの会】

は、市社協の「ふれあい食事サービス事業」を支援しているボランティアグループです。

1年間に15回、100食程度のお弁当を毎回作っているためか調理するスピードがとても速いことが印象的でした。そして、料理を作る人・盛り付ける人・片づける人など自然と役割ができており各自の持分を發揮していきいきとした活動をしていました。

また、「白ご飯にはしない」というポリシーがあり、利用者からもお弁当を心待ちにしている声が聞かれるそうです。



## ボランティア探訪



## 【下松点訳・音訳友の会】

は、目の不自由な方に多くの情報を届けるための活動しています。「相手に分かりやすい」ということを第一に、点訳では単語の区切り方、音訳では発音・アクセントを辞書を用いて確認していました。また、図や写真、表などを文章にして人がつくる温かさを出しています。

その他、文字や画像を表示しながら、合成音声による読み上げを行うテキストディイジー等、新しい分野にも挑戦し活動の幅を広げています。

会員が約30名、毎週火曜日、水曜日に地域交流センターで活動しています。